



甲州リハビリテーショングループ
KOSHU REHABILITATION GROUP

自分の時計

人は心の中に自分の時計を持っている

特集

1

新年理事長挨拶

特集

2

トピックス

- 2021年度リハビリテーション実績報告
- リハビリ体操 握力を鍛えよう
- 管理栄養士おすすめ !!
- 表紙の顔

- リハビリテーション支援ロボットを導入いたしました！
- キッチンカー出動！by機能強化型認定栄養ケア・ステーション
- 歯科の活動を紹介します ● Facebookはじめました
- コロナ禍の病院活動 オンラインリハビリ見学会を開催！



日本医療機能評価機構認定病院 リハビリテーション付加機能評価認定病院

医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院

特集 ① 新年理事長挨拶



新年のご挨拶

医療法人銀門会 理事長 中島 育昌

断而敢行、鬼神避之、後有成功

新年明けましておめでとうございます。

COVID-19 が出来てから4年目に入ります。職員の皆様には職業柄故に、患者さん・利用者の皆様に安心・安全を基本に、感染予防の実行・対策と、行動を制限し、窮屈で不自由な思いをされている長い毎日が続いております。

今年の干支は癸（みずのと）卯（う）であり、卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

上記 Title は、断固として実行すれば、鬼神も道を避け、功績も得られるであろうという意味であり、真の成功に至るように徐々に確実に急がず休まずに進む以外に名案良策はないと思います。そのためには伏久者飛必高（菜根譚：長い間うずくまって力を蓄えていた鳥は、一旦飛び立てば、必ず高く舞い上がる）を信じて、現実を前向きに捉え、我々はいま試されている、あるいは、自分の力が足りない点はないかなどを探り、変動期（inflection point）を認識し、神様が present を与えてくれていると考え、今年は飛躍したいものです。その基には、互いに繋がり合う計画を立て、職員同士コミュニケーションを図り一致団結して前に進むことが大切であると思っています。

“明日を見つめて、今をひたすらに”の精神で、油断・慢心する事なく、満足して一生懸命働けるように、病院の発展を願い進めていきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

甲州リハビリテーション病院の理念

私たちは、患者さん一人ひとりのより豊かな人生のために、

質の高いリハビリテーション医療を提供し、

地域リハビリテーション活動に貢献します。

甲州リハビリテーション病院の基本方針

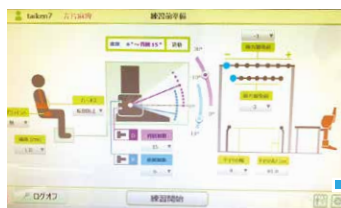
1. 患者さんを中心とした質の高いチーム医療を基本とし、全ての職員が専門知識や技術の向上を目指します。
2. 患者さんが住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるように、地域リハビリテーション関係者との連携を実践します。
3. 患者さんの立場を尊重し、明るい挨拶と誠実な仕事に努めます。



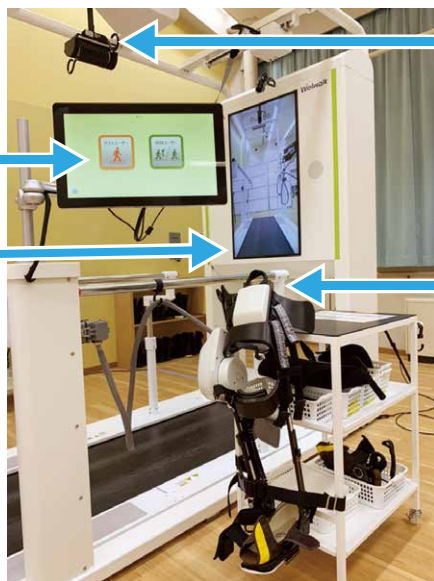
リハビリテーション支援ロボットを導入いたしました！

最近、リハビリテーション医学や医療の分野において、これまで培われたリハビリテーションの様々な概念を応用して、ロボットが導入されています。当院にも、2022年6月最新の「リハビリテーション支援ロボット」が導入されました。このリハビリテーション支援ロボットは、転倒防止ハーネスとロボット脚を使用し、脳卒中などによる運動麻痺が重度の患者さんを対象に早期から歩行練習が安全に行えます。また、患者さんの歩行状態の判断や改善策の検討を運動学習理論にもとづきAIがサポートし、効率的な歩行練習を提供することが可能となります。

7月より患者さんのリハビリテーション場面で使用を開始し、約半年間で延べ85名の患者さんに使用して頂きました。はじめは、ロボット脚の動きに戸惑いはありましたが、慣れてくことで、歩行がスムーズに行えるようになり、歩行能力の向上を図ることができています。



操作パネル



正面モニター

転倒防止ハーネス



ロボット脚

当院では、複数のリハビリテーション支援ロボットを導入しており、今後更に、ロボットを活用してのリハビリテーションを推進し、質の高いリハビリテーションの提供に努めていきます。



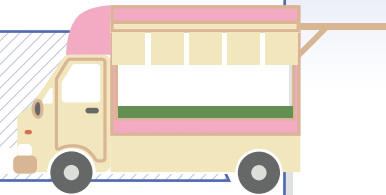
▲歩行をアシストしてくれる機器

▼動作の解析が可能となるシステム



リハビリテーション部

キッチンカー出動！ by 機能強化型認定栄養ケア・ステーション



キッチンカー「ショートケーキ号」を使った地域活動が始まりました。地域住民の皆さまへ栄養と食事についての情報発信を行っています。今回はその一部をご紹介します。



▲笛吹市のシニアクラブからのご依頼で、笛吹みんなの広場にて栄養講座・試食会を行いました。

管理栄養士が他職種と協働して
地域活動を行なっています。



▼山梨市主催の健康診断にて手作りスムージーとミニ栄養相談を実施し、メディアにも取り上げていただきました。



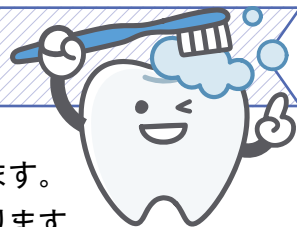
◀▼石和町四日市場で開催した管理栄養士と作業療法士のコラボ講座です。



今後も感染対策に配慮しながら
活動を実施していきます。



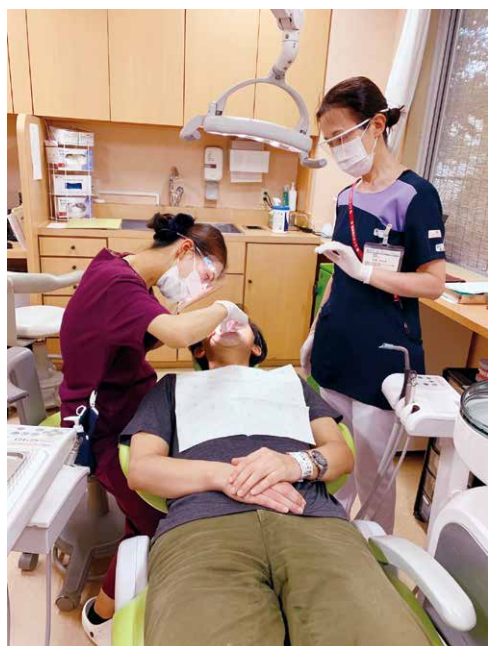
歯科の活動を紹介します



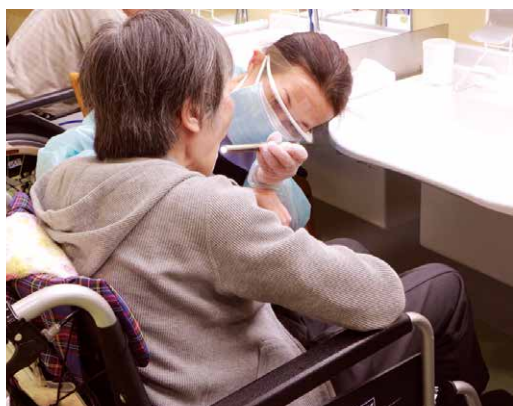
リハビリ効果を得るために栄養や運動のバランスが大切といわれています。
ご飯を食べることは、栄養が摂れ運動が出来る身体づくりの基本になります。
病気や加齢により飲み込む機能に障害が起きやすく、口腔内の細菌や誤嚥を起こすことで
誤嚥性肺炎など発症するケースがあります。当院の歯科では、このようなリスクを最小限に
防ぎ口腔内環境を整え、口から食べることや話すことを改善するための診療もしています。

入院時から患者さんとの関わり

- ① 入院時歯科衛生士による口腔内診査を行い口腔環境の確認や歯ブラシの選択などを検討します
- ② 入院時の多職種のカンファレンスで口腔内状況を発信し情報共有します
- ③ 週1回病棟の洗面所で歯科衛生士が口腔ケアの指導や口腔内の確認を行います
- ④ 嚥下歯科医師を含めた多職種で実際に食事場面を見ながら咀嚼や飲み込みの状況、姿勢や食事の形態など確認、検討を行います
- ⑤ 必要に応じ歯科治療を行います
- ⑥ 主治医の指示のもと嚥下障害判定や嚥下状態の確認のため造影剤を使用したレントゲンやファイバーを使用した嚥下評価を行います



▲入院患者さんの一般歯科治療(⑤)



▲病棟洗面台で口腔ケアを行なっています(③)



▲歯科医師、歯科衛生士、看護師、
リハビリ担当による食事場面の評価(④)

Facebook始めました！！



2022年7月1日より、病院内のさまざまな活動を皆様に気軽に知っていただこうと、「医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院」Facebookを、広報委員会を中心に始めました。

コロナ禍もあって入院患者さんのご面会等も規制させていただいており、なかなか見えにくい病院内の様子や活動等をさまざまな職種から発信しています。



Facebookは、以下のQRコードから閲覧することができます。
是非ご覧いただき、フォローや「いいね」などの応援を、ぜひ
よろしくお願いいたします！



▲ 医療法人銀門会
甲州リハビリテーション病院
Facebookページ QRコード

オンライン リハビリ見学会を開催!!

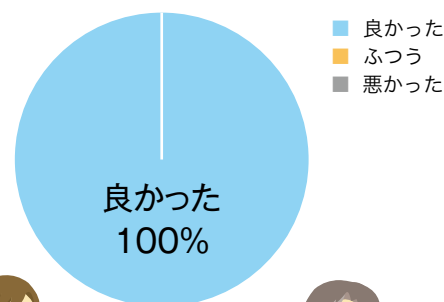
新型コロナウイルスの拡大に伴い、患者さんと面会ができないご家族より「どのようなリハビリをしているの?」「どの程度回復しているの?」「本人の姿が見たい」との声が多く聞かれました。そのような要望に応えるため、9月3日、9月18日にオンラインリハビリ見学会を開催しました。2日間で14組のご家族が参加され、患者さんにご家族がオンラインでつながりました!!

患者さんにエールを送るご家族、リハビリを頑張る姿に涙を流すご家族、それぞれの生活場所から患者さん、ご家族がつながることができた感動の時間でした。



参加後のアンケート結果

見学会はいかがでしたか?



ご家族からのご意見

説明がわかりやすく、退院後の家での生活がイメージできた!

頑張ってリハビリをされていて回復した姿が見れて良かった!

ずっと会えなかったけれど元気な顔が見れて、会話ができて嬉しかった!

今後もリハビリ見学会を開催してほしい!
また参加したい!



※写真の掲載については承諾を得ています。

2021年度 リハビリテーション実績報告

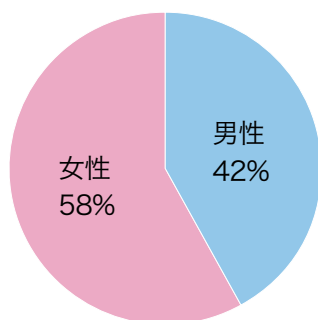
2021年度入院患者さんの状況とリハビリテーションによる改善状況

2021年度一年間に当院に入院された患者さんについてまとめました。1年間で690人の患者さんが入院し、心身機能や日常生活動作の改善を図って退院されました。

■入院患者数

690 人

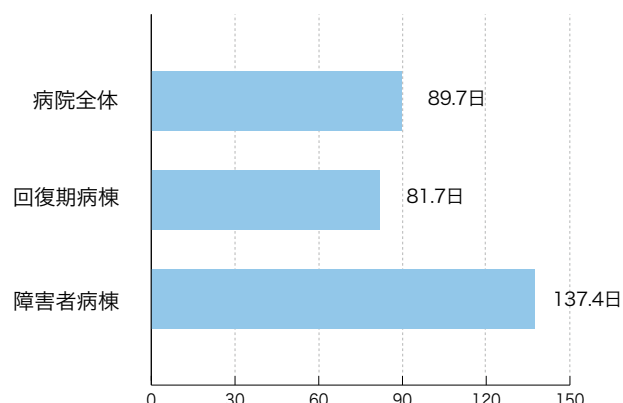
■男女比及び平均年齢



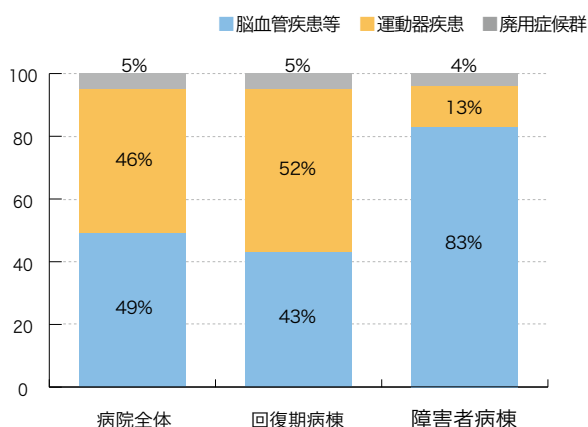
平均年齢

男性：72.3歳
女性：80.3歳
全体：76.9歳

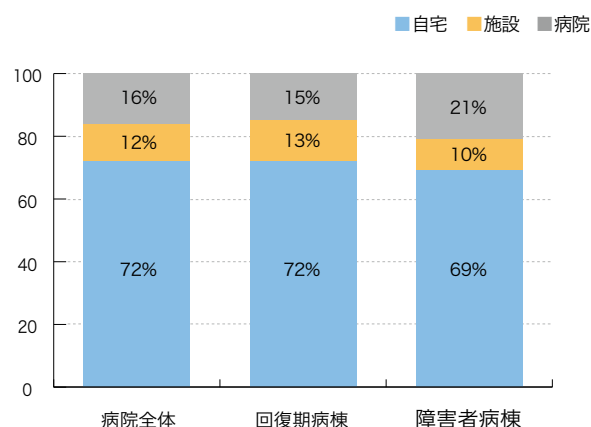
■入院期間平均日数



■疾患別リハ比率



■退院先



FIM（Functional Independence Measure、機能的自立度評価表）による日常生活動作の改善状況

FIM（Functional Independence Measure）

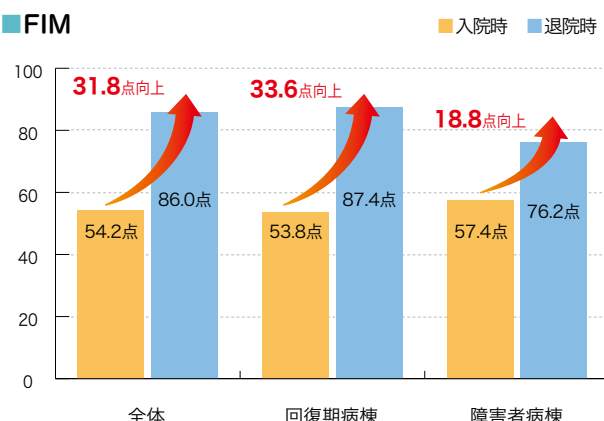
患者さんが日常生活を送るうえで必要な動作がどの程度で自分で実施できているのかを表す評価です。

食事、排泄、入浴、移動など全18項目を1点から7点で評価します。全ての日常生活動作が、自分でできる方は満点で126点となり、全ての日常生活動作に介助が必要な方は18点となります。

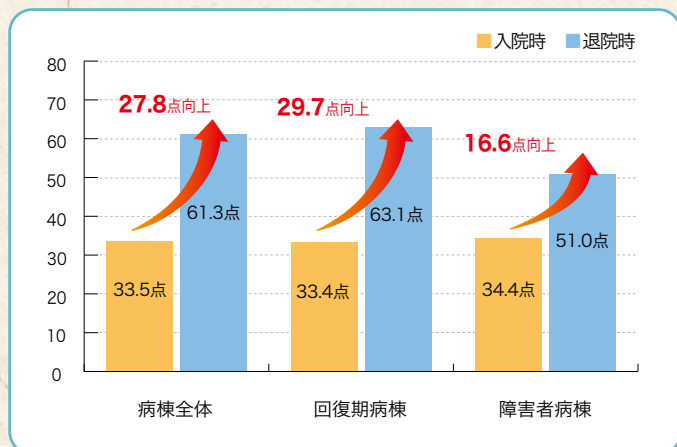
■各項目の採点基準

自立：7点、6点
見守り：5点
最小介助：4点
中等度介助：3点
最大介助：2点
全介助：1点

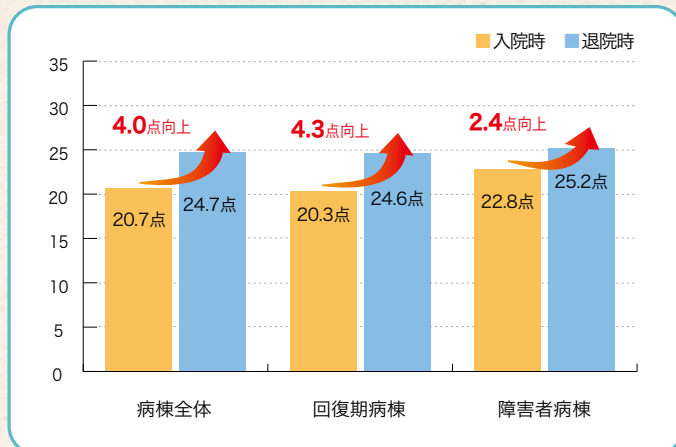
■FIM



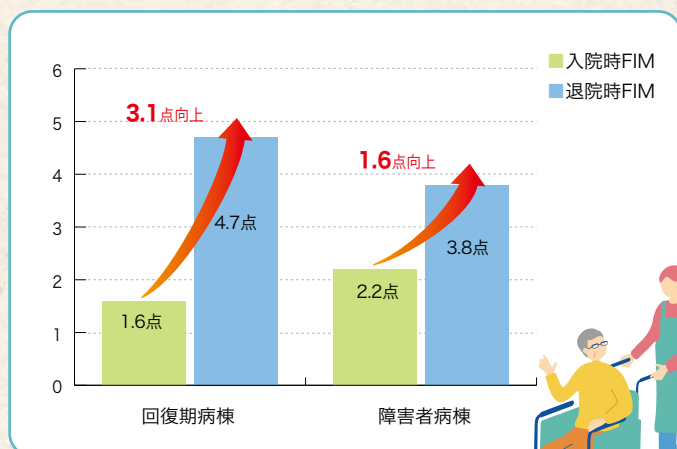
FIM運動項目



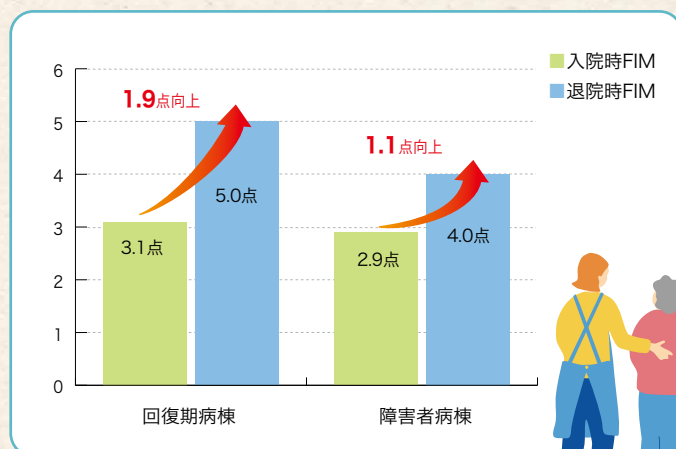
FIM認知項目



FIM gain（移動）



FIM gain（排泄）



FIM gain（食事）



当院では、365日リハビリテーションを提供し、1日も早くより良い状態で退院できることを目指しております。



院長コメント

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、昨年度に引き続き入院中の行動制限がありましたが、新たなリハビリテーション提供体制の見直しを行い、FIM改善状況は昨年度同等の成果を挙げることができました。今回は、退院後の日常生活動作において重要視される、移動動作・排泄動作・食事動作についての改善度を項目別に示しております。いずれの項目においても向上がみられており、7割以上の方が自宅への復帰をされております。現状の課題としては1日平均実施単位数をもう少し増やして、早期の自宅退院につなげられることを目標にしていきます。

引き続き、少しでも多くの方が住み慣れた地域で自分らしい生活を再開できますよう、支援させていただきます。

自宅で
できる！

リハビリ体操

握力を鍛えよう！

腕の力や握力が衰えてくると、日常生活にも影響が出てきます。

例えば、「ペットボトルや瓶のふたが開けにくい」「買い物袋を長時間持っていられない」

「雑巾をかたく絞れない」といったことがある方は、腕の力や握力が低下しているかもしれません。**握力の衰えは、フレイル（虚弱）の兆候とも言われます。**

テレビを見ながら、新聞を読みながらなど、ながら体操で上手く握力を維持していきましょう。

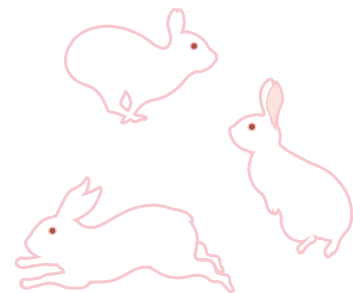
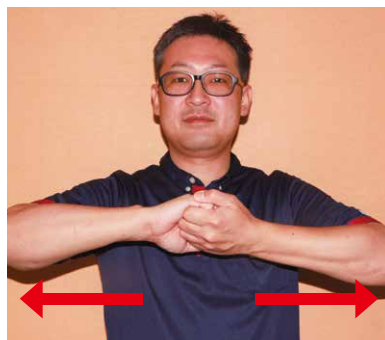
握って開いて 30回

しっかり開いて
しっかり閉じる！
できる人は100回
目指しましょう！



手を組んで引っばる 10秒×5回

息を止めないで
グューッと引っばる！



タオルを引っばる 10秒×5回

息を止めないで
グューッと引っばる！



新聞丸め 広げた新聞1枚

片手でやるのが難しい方は
両手でもOK！
全部の指を使って
丸めていきましょう！



リハビリ体操はご自身の安全を第一に、無理のない範囲で行ってください！

管理栄養士おすすめ!!

🍴 香味野菜と酸味を効かせた減塩レシピのご紹介 /

鶏肉とレンコンのねぎレモンだれ



所要時間

20分

1人前: 309kcal

蛋白質: 26.0g

食塩相当量: 1.4g

【材 料】(2人分)

鶏むね肉 180g
レンコン 150g
A { 酒 大さじ1
塩 軽くひとつまみ
こしょう 少々
片栗粉 大さじ1
サラダ油 小さじ1
カイワレ大根 少量

B ねぎレモンだれ

ネギ 50g
レモン 10g(1/8カット・皮付き)
レモン汁 小さじ1
生姜 5g
おろしにんにく 小さじ1/2
砂糖 小さじ1
醤油 小さじ2
酢 大さじ1
ごま油 大さじ1

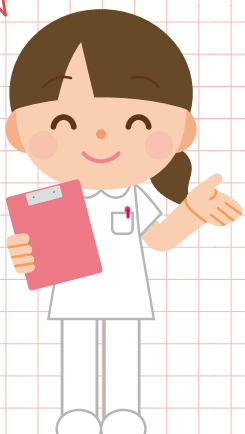
作り方

- 鶏むね肉は繊維を断つように一口大に切り、Aで下味をして片栗粉をまぶす。
レンコンは皮をむき4等分に切って1cm程の厚さに切り、酢水(分量外)にさらして水気を切る。
- ネギと生姜はみじん切り、レモンは薄切りにしてBの材料を全て入れて混ぜておく。
- フライパンに油を入れて熱し、鶏むね肉とレンコンを加えて中火で炒める。
焼き色がついて火が通ったら器に盛り、②をかけてカイワレ大根を添えたら完成。

★減塩のポイント

薄味でも美味しく召し上がれるように、ネギ・生姜・にんにくの香味野菜、レモン・酢の酸味に、ごま油の香りを加えたのがポイントです。また、レンコンは焼き目をつけて香ばしさをアップ。冬の甘いレンコンでぜひお試しください。

アンケートはこちらを
切り取ってご記入ください。
次号について要・不要の
ご希望がありましたら
し点をご記入下さい。
【次号 ☐ 要・☐ 不要】



郵便はがき

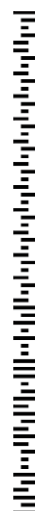
4068790

山梨県笛吹市石和町四日市場2031

医療法人 銀門会

甲州リハビリテーション病院

「自分の時計」アンケート係 行



料金受取人私郵便
石和局認
100

差出有効期間
2024年4月29日
まで
(切手不要)

〒	
住所	氏名

* 次号について要・不要のご希望がありましたら
し点をご記入下さい。【次号 ☐ 要・☐ 不要】
アンケート回答のみの場合、無記名で結構です。

日本医療機能評価機構認定病院
リハビリテーション付加機能評価認定病院
医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院

表紙の顔



リハビリテーション部

リハビリテーション支援ロボットの導入に伴い、専門チームを立ち上げました。計12名のチームメンバーを中心に、より効果的にリハビリテーションの提供ができるように情報交換等を行なっています。リハビリテーション部のスローガンである「追求します専門性を！提供します質の高いサービスを！」を実践できるようにコロナ禍ではありますが、工夫をしながら学習会等を実施し、入院中の患者さんが1日も早く退院できるように日々取り組んでいます。



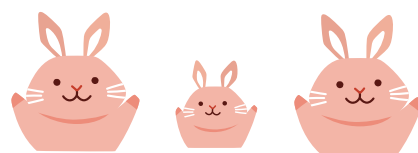
編集後記



広く国民に「新しい生活様式」へのシフトが求められ、早3年が経とうとしています。皆さんの生活も、振り返ると変化が大きかったのではないのでしょうか。

当院は、直接入院・外来患者さんへ関わる職員と、地域リハビリテーションに携わる職員が、直接交わる機会を減らしつつ、柔軟に業務を遂行するため、DX化を推進しております。広報委員会の活動も、WEB会議等のシステムを活用して、新たな方法で「自分の時計」の編集作業を進めて参りました。

コロナ禍においても新しい取り組みを行う当院の様子を、広く地域の皆さんへお伝えできるよう、当委員会もホームページやSNSも活用して、新しい広報のあり方を模索中です。ぜひ、皆さまの声を、読者アンケートへお聞かせください。



甲州リハビリテーション病院
「院内だより」164号

自分の時計 2022年秋冬号

発行：(医) 銀門会

甲州リハビリテーション病院

編集：2022年度広報委員会

印刷：(株)オズプリンティング

医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院

〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 2031

TEL:055-262-3121(代) FAX:055-262-3727

相談窓口専用 / 0120-374-119 (フリーダイヤル)

相談専用FAX / 055-262-8190

E-mail : koshu@krg.ne.jp

甲州リハ

検索

甲州リハビリテーション病院広報誌
「自分の時計」読者アンケート

該当するものに○印をつけてください。

■ご回答者さまについてお伺いします。

●性別について

①男性 ②女性

●職業について

①医療関係 ②介護関係 ③学校関係
④市町村関係 ⑤学生 ⑥主婦 ⑦その他

●居住地域について

①笛吹市 ②甲府市 ③山梨市 ④甲州市
⑤中央市 ⑥甲斐市 ⑦その他

■「自分の時計」2022年秋冬号についてお伺いします。

Q1 どの記事に興味を持ちましたか？

①ご挨拶 ②トピックス ③オンラインリハビリ見学会

④リハビリテーション実績報告 ⑤リハビリ体操

⑥管理栄養士レシピ ⑦表紙の顔

※複数回答可

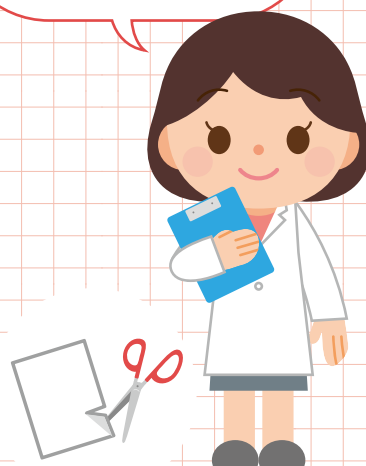
Q2 「自分の時計」を読んで感想をお聞かせください。

①良かった ②ふつう ③悪かった

Q3 Q2の回答について、どうしてそう思われましたか？

●今後、取り上げてほしい特集や要望があればご記入ください。

アンケートは
こちらを切り取って
ご記入ください。



キ
ー
コ
ー
ド

* ご協力ありがとうございました。*